

消火器の使い方

消火器は、身近に見る機会も多いため、みなさんにとってなじみの深いものですが、実際に使ったことのある人は少ないと思います。さらに、火災が発生してしまったら気が動転して、簡単な使い方なのに使えないということもあります。万一の火災に備えて消火器の使い方を確認しておきましょう。

1 安全栓を上引き抜く

必ず火元まで運んでから、安全栓を上引き抜きましょう

消火器を運ぶ場合、安全栓は出来るだけ火元の近くで抜きましょう。

先に抜いて、運ぶ途中にレバーを握ってしまったために消火薬剤が出てしまい、火元についた時には、空になってしまったということも...

また、安全栓を抜かないとレバーが動かない構造になっていますから、レバーが固くて動かないと思ったら、落ち着いて安全栓がついたままでないか確認しましょう。



2 ホースをはずし火元に向ける

ホースをはずし、ホースの先端を握り火元に向ける

ホースの先端を握ると簡単にホースをはずすことができます。また、粉末消火器の湿気防止用キャップは圧力で外れるので取る必要はありません。



3 レバーを強く握る

力のない人は、消火器を地面に立ててから押しましょう

片手では重たくて力が入らない場合、加圧式で固く握れない場合は、消火器を地面に立ててレバーを上から体重をかけて押しと出やすくなります。



4 消火します

ほうきで掃くように消火します

消火薬剤が出始めれば、上の炎や煙ではなく、燃えているものに向けて、ほうきで掃くように左右にかけます



注意事項

消火器は手軽なために初期消火に適していますが、使用できるのは炎が天井面に立ち上がる前までと考え、それよりも大きくなれば、消火器以外に消火方法がなければ、速やかに避難することが大切です。

また新しく購入する場合の古い消火器の廃棄については各ホームセンターや防災用品販売店にお問い合わせください。

その他、ご不明な点がございましたら消防本部までお問い合わせください。

問合せ先：橋本市消防本部・署 予防課予防係 0736-33-0119